

コード	205010201
記入日:	H22.6.11

課コード	121
課名	消防本部
課長名	窄口雅昭
担当者	山田明人

事務事業事後評価表

作成年度	平成 22 年度
------	----------

評価対象事業名称	消防ポンプ自動車購入事業
----------	--------------

事業種類	単年度繰返事業
事業期間	平成 21 年度 ~ 平成 21 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け			
政策コード	2	政策名称	安全、便利、快適な生活環境づくり	款コード	9		
施策コード	205	施策名称	安全を実現できる体制づくり	項コード	1		
基本事業コード	20501	基本事業名称	防災対策の充実	目コード	1		
事務事業コード	2050102	事務事業名称	石油立地交付金事業費(道路除く)	細目コード	935		
関連計画		法令・条例規則等					

計画(PLAN) ※単年度事業及び単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。

対象:誰、何を対象にしているのか		対象指標:対象の大きさを表す指標				
(対象1)	町民	(対象指標1)	23,719人 (H21. 4. 1)			
(対象2)		(対象指標2)				
事業の概要:具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標:事務事業の活動量を表す指標・達成率 (上段:全体、下段:評価年度)				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
*****	町民からの火災防ぎよ要請に迅速に対応するための体制を整えた。消防ポンプ自動車購入台数 1台	***** 購入台数	***** 1台	***** 100%	***** 購入台数1台÷購入計画台数1台	***** 平成21年度
		① (達成率分析)	町民からの火災防ぎよ要請に迅速に対応するための体制を整えた。			
		② (達成率分析)				
目的:何をしたいのか		成果指標:目的の達成度を表す指標・達成率 (上段:全体、下段:評価年度)				
		(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
		***** 火災出動件数	***** 0件	***** 100%	***** 火災出動件数0件÷出動要請件数0件	***** 平成21年度
		① (達成率分析)	火災要請0件であったが、泡消火の訓練を行い、出動体制を整えた。			
		② (達成率分析)				

実施(DO) ※単年度事業及び単年度繰返事業については、評価実績年度及び全体計画欄のみ記載する。

	単位	全体計画 H 21 ~ H 21		平成20年度以前	平成21年度	
		計画	実績	実績	計画	実績
活動指標	① 台	1	1		1	1
	②					
成果指標	① 回	0	0		0	0
	② 人					
総事業費C (A+B)	千円	30,665	28,630		30,665	28,630
直接事業費 A	千円	29,965	27,930		29,965	27,930
人件費 B	千円	700	700		700	700
内訳	従事職員数	人	0.1		0.1	0.1
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円				
	県補助金	千円	27,600	25,000	27,600	25,000
	起債	千円				
	その他	千円				
一般財源	千円	3,065	3,630		3,065	3,630

コード 205010201

評価(CHECK)

※理由の欄は必ず記載すること。

妥当性	町が税金を投入して行う必要がありましたか。	● はい ● いいえ	理由 町民の生命を守ることは町の責務である。
	時代情勢や環境の変化などを考慮しても、事業を行う必要がありましたか。	● はい ● いいえ	理由 住民の生命及び財産を守ることは行政の仕事であり不変的なものである。
	事業の対象・目的は適切でしたか。	● はい ● いいえ	理由 対象は全町民であり適切である。
有効性	事業の目的は達成されましたか。	● はい ● いいえ	理由 計画とおりに購入し、町民の救急要請に対応することができる。
	成果を向上させる余地はありませんでしたか。	● はい ● いいえ	理由 現状を維持するための事業であるため。
	事業を行わない場合の影響はありませんでしたか。	● はい ● いいえ	理由 町民の生命身体を守るができない。
	類似事業との整理統合はできませんでしたか。	● はい ● いいえ	理由 類似事業はない。
効率性	直接事業費を削減することはできませんでしたか。	● はい ● いいえ	理由 町民の生命身体及び財産を守るために必要不可欠であり、削減できない。
	人件費を削減することはできませんでしたか。	● はい ● いいえ	理由 町民の生命身体及び財産を守るために必要不可欠であり、削減できない。
	受益者負担は適正でしたか。	● はい ● いいえ	理由 受益者負担はなし。

改善(ACTION)

1次評価	○今後の関連事業に対する改善点 なし
	○目的が達成されていない場合の課題と改善策 目的が達成されているため、なし
2次評価	火災・災害発生時の緊急体制が図られた。今後も車両等機器の整備には万全な体制を確保しておくこと。

住民等の意見	
町の対応	

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。